

A 達成できている B ほぼ達成できている C 改善が必要

評価内容	園評価	
<p><b>保育理念【共に育ち合う】</b></p> <p>のびのび〔健康〕 安心してのびのびと過ごす</p> <p>いきいき〔表現〕 自分の思いをいきいきと表現できる</p> <p>ありがとう〔感謝〕 ありがとうと言われる経験をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との対話を大切にし、園児の成長について心を重ねていくことが0歳1歳2歳の保育にとって最も重要であると再確認した年であった。</li> <li>・職員、保護者の成長が子どもたちの成長に繋がり『共に育ち合う』事を実感する事ができた。</li> <li>・壁のないフリースペースの保育園である為、全園児の成長が実感できた。それにより、保育のステップアップがスムーズに行う事ができた。</li> </ul>	A
<p><b>子どもの発達、保育、教育の内容について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は2歳児クラスが8名在籍していた事で活動に深みが出た。2歳児のクラスの活動が充実した事で、他のクラスにも良い影響をもたらし、園全体の活動が豊かになった。</li> <li>・昨年度より力を入れている学年の活動。今年度もクラス担当が様々な活動を工夫し、子どもが夢中になる活動は、成長に繋がると実感した。</li> <li>・学年の活動は、楽しむ事が一番の目的ではあるが、その中に「集団生活をする上で身につけたい行動」として遊びの中で楽しく学べるよう工夫した。</li> <li>・縦割り保育の長所も存分に発揮し、下の子が上の子の真似をしながら学び、上の子は毎日一緒に過ごす中で下の子への愛情が増していった。</li> <li>・子どもたち同士で遊びを広げようとする姿も見られ、成長を感じたが、その分トラブルも生まれてしまい、それにより遊びが中断してしまった。それも大事な経験ではあるが、この年齢に適した援助方法を学ぶ必要があると感じた。</li> </ul>	A
<p><b>養護に関する内容について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、コロナウイルスやインフルエンザが猛威をふるうことはなかったが、アデノウイルス・胃腸炎等季節のウイルスが園全体に広がりを見せた。</li> <li>・感染力が強いウイルスに対応すべく、職員の対応を細かくマニュアル化し、前年度よりも強化した。胃腸炎の流行の際は、汚れた服や布団は園にて洗浄をしないというマニュアルに基づき行動をし、保護者の理解と協力のお陰で、早期に収束する事ができた。</li> </ul>	A

<p><b>職員の連携 資質向上</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は2名の職員が入職した。新しい考え方が増えた事で、他の職員も刺激を受け、自らの保育を見直すきっかけとなった。</li> <li>・保育士経験を重ねると、正解を決めつけそれを守ろうとしてしまう事があったが、新しい職員や園児からの学びを通し、新しい考えを取り入れる柔軟性を持つことができた。これからも現状に満足する事なく、更なる向上を目指していきたい。</li> <li>・縦割り保育は、職員のチームワークがとても重要である。今年度も職員同士のコミュニケーションをとりながら、保育士自身が楽しめる雰囲気作りを大切にしたい。</li> <li>・今年度より『コドモン』の導入も始まった。来年度より順次機能を増やし、本格的に利用できるように職員で研修・研究を深めていきたい。</li> </ul>	<p>B</p>
<p><b>来年度へ向けて</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は、職員会議をさらに充実させ、効率よく有意義な話し合いが出来るよう工夫し、少人数の会議も含み、回数を増やしていく。</li> <li>・コドモンを有効活用しながら、業務の効率化を図ると共に、保護者との連絡をスムーズに理解しやすくしていく。</li> <li>・来年度は、学年の人数に差が出ると思われる。今年度は学年活動に力を入れたが、来年度は加えて学年の壁を越えた活動も充実させていきたい。その為に、職員一同が全園児の個々把握をしっかりとできるよう、記録・伝達を充実させていく。</li> </ul>	